

図書館に関する話題 第5回 文系図書購入

文系図書の紹介 「BBCシェイクスピア全集」について

人文学部教授 田中 一隆

平成21年度附属図書館文系図書予算によって整備された『BBCシェイクスピア全集』について、紹介を兼ねた文章を書くように依頼されました。シェイクスピア劇の上演の歴史にも触れながら、『BBCシェイクスピア全集』の特徴と意義について述べることによって、筆者に与えられた責任を果たしたいと思います。

英国ルネサンス演劇の研究者である筆者にとって、シェイクスピア劇は何よりもまず印刷された活字の形で存在しています。それは、活字の方が、言葉や構文の細部の検討がはるかに楽だからです。しかし、シェイクスピアの劇はもともと活字で存在したものではありませんでした。活字による『シェイクスピア全集』が出版されたのは、作者の死後7年後のことでした。シェイクスピアの劇は舞台の上で上演されたものであり、したがってそれは、舞台と舞台上の役者の台詞として存在していたのです。活字と舞台の間を埋める作業は、今でも英国ルネサンス演劇研究の難問の一つです。

もちろん、シェイクスピアはいまから四百年以上も前の作家ですから、シェイクスピアの劇が当時の上演そのままに保存されているわけではありません。シェイクスピアの劇が主に上演された「グローブ座」も、(いままでこそ「シェイクスピア・グローブ座」として、テムズ川の南岸に再建されていますが) 1613年、『ヘンリー八世』上演中に、国王入場を知らせる砲撃の効果音に起因する火災が原因で、灰燼^{かいじん}に帰してしまいました。「グローブ座」はその後再建されますが、ピューリタン革命の時に、公衆劇場の弊害を攻撃し続けて来たピューリタンによって破壊され、1644年、この地上から永遠にその姿を消してしまいます。王政復古以降イギリスの公衆劇場が再開されると、シェイクスピアの劇も再び上演されるようになりますが、以後約一世紀半にわたってシェイクスピアの劇は、主に改作の形で上演されます。シェイクスピアの劇が原作に忠実に舞台上で上演され始めるのは19世紀に入ってからです。

映画技術の発明によってシェイクスピア劇も映画で

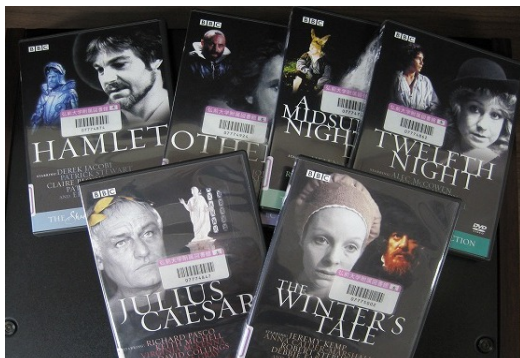
上演されるようになります。史上最初のシェイクスピア映画は1899年の『ジョン王』の映画化で、上演時間はたった4分ほど、原作には存在しない、ジョン王が大憲章に署名する場面があったそうです。映画によるシェイクスピア劇として画期的なのは、名優ロレンス・オリヴィエによる『ヘンリー五世』(1944年)、『ハムレット』(1948年)、『リチャード三世』(1955年)です。このシェイクスピア三部作では、当時最新の映画技術が駆使されています。とくに『ハムレット』はすでにシェイクスピア映画における古典の地位を獲得していて、筆者も教室で『ハムレット』を読むときには、(比較対象としてケネス・ブラナーの『ハムレット』(1996年)を観るときもありますが) 基本的にオリヴィエの『ハムレット』を併せて観ることにしています。

さて、前置きが長くなってしまいましたが、ここでいよいよ『BBCシェイクスピア全集』に登場してもらいましょう。まず強調しておきたいのは、シェイクスピア全集(37作品)を活字ではなく映像の形で表現する試みは、シェイクスピアの死後400年の間にほとんど試みられたことのない画期的なものだったということです。BBCが壮大な計画を立てたのは1975年、周到な準備を経て最初の作品が放送されたのが1978年、作品はシェイクスピア全集の中でもっともなじみ深い『ロミオとジュリエット』でした。興行的な成功もねらったBBCのしたたかさが窺えます。原作に限りなく忠実に、が創作の基本方針。テキストは定評のあるピーター・アレ



BBC シェイクスピア全集 全37巻
(写真は一部)

グザンダー版を採用、衣装や舞台背景なども可能な限りその時代の雰囲気伝えるものを使っています。『BBCシェイクスピア全集』は、1980年から87年まで、『NHKシェイクスピア劇場』として日本でも放送されましたので、ご記憶の方も多いのではないかと思います。このころはビデオ（ベーターとVHS）が出始めた頃で、筆者の身近にも、『NHKシェイクスピア劇場』を記録するためにビデオを購入したという人が何人もいまし



(左上から)『ハムレット』『オセロー』『夏の夜の夢』『十二夜』『ジュリアス・シーザー』『冬物語』

た。それから約20年後、わたしたちは、今度はDVDの形で、『BBCシェイクスピア全集』を観ることができるようになりました。シェイクスピア劇がわずか4分間の映画で表現された時から一世紀以上の歳月が流れ、その間映像技術は飛躍的な進歩を遂げ、DVDでは、日本語字幕(坪内逍遙の後、最初にシェイクスピア全集の日本語訳を完成させた、東京大学名誉教授小田島雄志氏が監修)、英語字幕の選択もできます。最新のデジタル・リマスタリングによるきわめて質の高い映像と音がわれわれを迎えてくれます。この画期的な『BBCシェイクスピア全集』が、弘前大学附属図書館で観られるようになりました。講義や講演のためであれば、一定期間貸し出しもしてくれます。『ハムレット』、『オセロー』、『夏の夜の夢』、『十二夜』、『ジュリアス・シーザー』、『冬物語』等、シェイクスピア劇の傑作を、ぜひお楽しみいただきたいと思います。

(たなか かずたか)

田中先生にご紹介いただいた「BBC シェイクスピア全集」は本館3階視聴覚室で利用できます。

Library News

医学部分館貴重資料書庫「松木文庫」移転



松木文庫入口

弘前大学医学部名誉教授松木明知氏から寄贈された、ウィリアム・オスラーコレクション、医学古典叢書の復刻版、レオナルド・ダ・ヴィンチコレクション及びノーベル医学・生理学賞関連コレクションを中心とする、医学分野の貴重資料を所蔵する医学部分館貴重資料書庫「松木文庫」が、医学部臨床研究棟地下一階に移転しました。

新しい「松木文庫」には貴重資料を保存する書棚を始め、資料を公開展示するためのガラスケース、監視カメラや空調設備が整えられ、隣接する「機器展示室」と併せて医学関連の歴史的資料の保存及び情報発信の拠点としての役割が期待されます。

また、今回の移転に併せまして、来る6月29日(火)に、開設記念セミナー及び所蔵資料寄贈者である松木明知氏による講演会が行われる予定です。

(医学情報グループ 藤井真嗣)



ウィリアム・オスラーコレクション